

2023-24 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530



世界に希望を生み出そう

第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 渡辺 敬藏
幹事 宮崎 秀剛
奉仕プロジェクト
委員会委員長 寺島 英樹
会報写真担当 朝倉 久仁男

令和6年1月22日(月) 第22回 通算第1684回例会

・例会日/月曜日 12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎ (024) 535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第22回例会 点鐘 12:30

- ◇開会点鐘 渡辺 敬藏 会長
- ◇ロータリーソング
「我らの生業」
ソングリーダー 佐藤 慶行 会員



- ◇四つのテスト唱和 佐藤 宗弘 会員



- ◇お客様並びにビジター紹介

- ◇会長あいさつ 渡辺 敬藏 会長

40周年記念式典が、いよいよ来週に迫ってきました。本日11時からエルティさんを含めた最終打ち合わせおよびリハーサルを実施し、確認を行いました。ご参加いただき有難うございました。気が付いた点があればお教えいただき、修正すべき点があれば、修正したいと思います。よろしくお祈りします。

40周年記念式典を実施するにあたり、10周年記念式典記念誌や30周年記念式典記念誌などを読みますと、西ロータリークラブの発足当時やその後の様子が分かります。今回も記念誌を発行することとなっていますが、参考にしながら進めたいと思います。

さて今月は「職業奉仕月間」となっていますので、職業奉仕についての話をします。

昨年3月のPETにおいて職業奉仕委員長の齋藤純一氏から～職業奉仕の実践『決断と実行』～のタイトルによるお話があったので、その一部を紹介いたします。

職業奉仕の心は、孔子の弟子の子貢が孔子に問い

た「たった、一言で、一生それを守っておけば間違えない人生が送れる言葉がありますか」に対して、孔子が答えた言葉、「恕」(じょ)すなわち、「思いやること」であるとのことでした。

次に「職業奉仕」の定義とは、について「職業奉仕とは、切磋琢磨して自分を磨き、各々の職業を職業倫理のもとに行い、それを伝え地域社会に貢献することのできる人材を育成すること」と言っている。

しからば、それをどこで学べばよいかと言えば、「楽しい例会」でとのことでした。例会開催についてのご提案があればおっしゃってください。

ローターアクト委員会から「いじめ問題講演会・モンゴル視察事前打ち合わせ」開催にあたって、NPO法人ストップいじめ！ナビ 副代表理事 須永 裕慈氏による講演「日本と海外のいじめの現状～私たちにできこと～(仮)」があるので参加いただきたいとの連絡がありましたので、参加される方は事務局にご連絡頂きたい。

本日はここまでとします。
有難うございました。

- ◇幹事報告 宮崎 秀剛 幹事

○お知らせ

- 2/4 開催の阿久津肇寛容塾はZoomでの参加が可能となっておりますので、お早めにお申し込みください。現在、渡辺会長、久米会員、佐藤宗弘会員が出席となっております。
- 1月ロータリーレートは1ドル141円ですのでお知らせいたします。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告

西形 健吉 委員長



○渡辺敬藏会長

午前中は、40周年記念式典のリハーサルに御参加いただきありがとうございます。

○宮崎秀剛幹事

本日の40周年リハーサルおつかれさまでした。例会も宜しくお祈りいたします。

○黒澤信之会員

本日、スピーチさせていただきます。宜しくお願いいたします。

朝倉久仁男会員／大内裕子会員／大平謹一郎会員／久米允彦会員／佐藤卓立会員／佐藤宗弘会員／佐藤慶行会員／高梨哲男会員／西形健吉会員／野尻榮一会員

本日のスマイリングBOX集計13件 26,000円

ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム

◆職業奉仕月間にちなんで

職業奉仕委員長スピーチ 黒澤 信之 委員長



本年度、奉仕プロジェクト委員会 職業奉仕小委員長を仰せつかっております黒澤でございます。本日は、職業奉仕月間にちなみスピーチの機会をいただきありがとうございます。たっぷりとお時間を頂戴いたしまして、どうにも時間の配分に悩んでしまいましたが、

- 1) 優良従業員表彰について
- 2) 先般行われました地区職業奉仕委員会セミナーの報告
- 3) 職業奉仕の概念について、
- 4) 最後に私の職業についてのご紹介

などについてお話しさせていただきたいとおもいます。自分でも何を話しているのかわからなくなりそうで心配な部分もございますが、ロータリーの寛容の精神でお付き合いいただければ幸いに存じます。

早速ですが、まずは優良従業員表彰についてです。本年度、事務局からの案内、例会時のアナウンス、理事会での一本釣り指名等々推薦のお願いを行いました。残念ながら推薦がございませんでした。該当者なしということで表彰を行いませんでしたが、この制度は当クラブ細則に規定されています。本年度の事業計画書にその文書が記載されていますので読み上げます。

ちなみに、会員の皆様からご意見を聞きますと、優良従業員表彰該当者に、昼間の例会の時間に、自分の業務をぬけて出席してもらおうというのが一番の問題になっているようで業務に支障をきたす恐れから推薦を控えているという本音があることが判明しました。次年度からは表彰の仕方、招待の仕方を工夫して実行することを検討していけばよいのではないのでしょうか。

次に、先般開催されました、地区職業奉仕委員会セミナーについての報告をいたします。

本来は、11月の例会で報告の予定でしたが、諸事情により欠席したため報告の機会を失っておりました。せっかく地区のセミナーを受けたのに皆さんに報告する機会が得られないのかと落胆しておりましたが、このような機会に際し報告できることをうれしく思います。

職業奉仕委員会セミナーは、2023年10月15日（日曜日）、13時から16時までの時間、郡山の湯ラックス熱海を会場に開催されました。

右近ガバナーをはじめ、地区職業奉仕委員会の委員の方を中心に、80名以上の出席の元、第一セッションの基調講演として阿久津パストガバナーの講義を拝聴し、第二セッションではRLI方式によるグループディスカッションを行いました。私は、このような方式によるディスカッションに参加するのは初めての経験でしたが、正解を求めるのではなく、それぞれの構成メンバーが、自分の考えを披露し、みんなで話題を盛り上げていくこのやり方にふれ、有意義な経験をさせていただきました。

次に、職業奉仕の概念についてお話しさせていただきます。

ロータリーには五大奉仕部門という概念がございます。ロータリークラブ会員がクラブ内において行うべき奉仕活動を五つの奉仕に整理し、それを部門の活動（委員会活動）として示したもので、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕そして青少年奉仕があります。

第二部門である職業奉仕は、事業及び専門職種の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割にはロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるためにクラブが開発したプロジェクトにこたえることが含まれる。

ということだそうです。皆様はお分かりになりますか？非常に難解な説明で理解が追いつきませんので、自分なりの解釈をご披露したいと思います。五大奉仕の他の各部門は対象が明確です。

クラブに奉仕する。

社会に奉仕する。

国際に奉仕する。

青少年に奉仕する。

それに対して、職業に奉仕する・・・これは言い訳に使っています。職業「で」奉仕する。ととらえると腑に落ちるような気がします。職業という、手段、専門分野を生かして奉仕する。

そう考えると、すべてに通じる考え方になるような気がします。

最後に、職業奉仕月間にちなみ、私の職業についての紹介をさせていただきます。弊社の拙い会社案内を持参いたしました。裏表紙に会社の概要等について記載されておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

◇閉会点鐘

渡辺 敬蔵 会長

◇会報カメラ担当

朝倉久仁男 会員